

An aerial photograph of a city, likely in Japan, showing a mix of urban development and green spaces. A large stadium with a distinctive white, curved roof is visible in the upper left. A river flows through the city, and a major highway runs along the left side. The text is overlaid in the center.

(仮称) 美園スタジアムタウンビジョン 2050

【素案】

1章 はじめに

2章 ビジョンの基本理念

3章 美園の魅力

4章 将来像

5章 まちづくりの方針と戦略

6章 活動の指針

1章 はじめに

- ービジョン策定の背景・目的
- ービジョンのターゲット
- ー対象区域
- ー目標年次

ビジョン策定の背景と目的

- さいたま市美園地区では、道路整備や宅地造成、住宅・店舗等の建設など、**市の副都心の一つとして、大規模な新市街地づくりが進行中**である。「**浦和美園駅**」の開業や「**埼玉スタジアム 2002 公園**」の開場、「**みそのウイングシティ**」の土地区画整理事業施行開始から**20年を迎え**、子育て世代を中心とした人口増や、企業立地等により美園に係るプレイヤーは年々増加している。
- 一方、この20年間でICT等技術革新も急速に進展し、環境意識、健康志向の高まりや、ライフスタイル・価値観の多様化など、**大きな変革期**を迎えている。
- そこで、次の時代のまちづくりに向けて、これまでの取組の蓄積も活かしつつ、**首都圏郊外に位置する本地区の目指すべき“将来像”を共有しながら、美園に係る様々な主体の連携・参画・協働を促進し、各種取組を一層加速化していくため、本ビジョンを策定する。**

ビジョンのターゲット

- 美園に暮す人・働く人・学ぶ人・訪れる人が**Well-being***になること

* Well-being : 身体的・精神的・社会的に良好な状態 (WHO;世界保健機関)

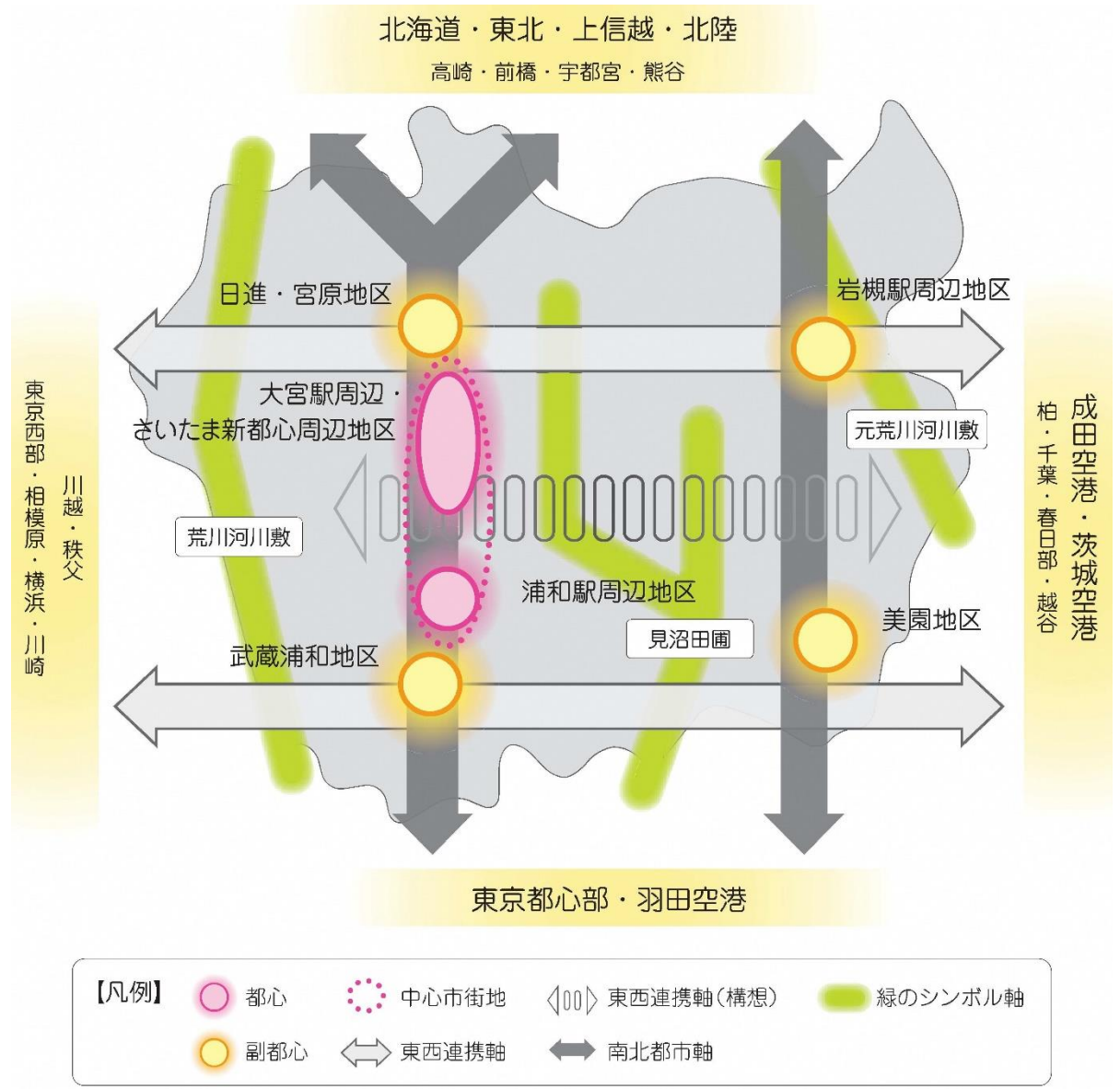
さいたま市の目指す将来都市構造

都市機能の集積や豊かな自然環境との共生などにより、質の高い市民生活を支え、多彩な交流を生み出す、「水と緑に囲まれたコンパクト＋ネットワーク型の都市構造」

副都心“美園地区”の目指す方向性

「埼玉スタジアム2002」などの地域資源を生かしながら、“スポーツ、健康、環境・エネルギーを軸に先端的なライフスタイルを創造する副都心地区”の形成を目指す。

- 大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区と浦和駅周辺地区を2つの「都心」と位置付け。
- 日進・宮原地区、武蔵浦和地区、美園地区及び岩槻駅周辺地区の4地区を「副都心」と位置付け。
- 「副都心」は、地域の特性を生かした都市機能を有し、都心や副都心間で連携しつつ、一定規模の都市的サービスを楽しむことができる、都心に次ぐ都市活動や市民生活の拠点として、都心を補完する役割を担う。

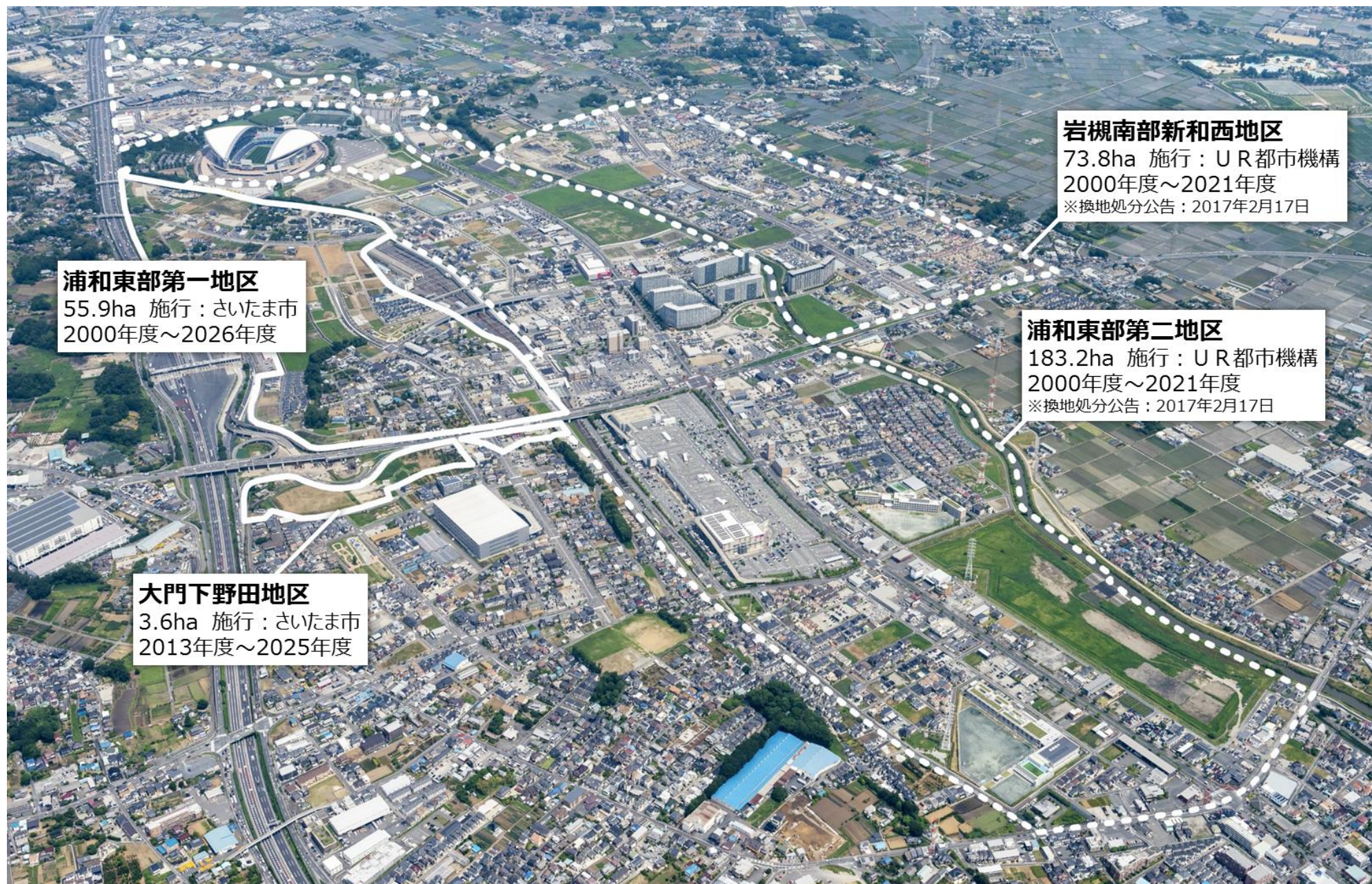


将来都市構造のイメージ

【参考】みそのウイングシティ関連簡易年表

	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
鉄道整備	●85年7月 運輸政策審議会答申第7号 地下鉄7号線の建設・延伸（～浦和市東部）	●92年3月 三セク「埼玉高速鉄道(株)」設立	●94年4月 埼玉高速鉄道+関連街路（埼玉県内）都市計画決定	●00年1月 運輸政策審議会答申第18号 地下鉄7号線の建設・延伸（～岩槻・蓮田） 東西交通大宮ルート新設	●01年3月 埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」開業		●16年4月 交通政策審議会答申第198号 埼玉高速鉄道線の延伸 東西交通大宮ルート新設	
都市開発		●92年～ 浦和東部・岩槻南部地域 整備計画 調査開始	●93年 「国際アメニティタウン構想」推進地区に指定 （県の5カ年計画）	●01年3月～ みそのウイングシティ区域 土地区画整理事業	●99年6月 市街化編入・土地区画整理事業等 都市計画決定	●06年4月 駅東口先行街区まちびらき イオン浦和美園ショッピングセンター開業	●17年2月 U R 施行区域の換地処分	
埼玉スタ整備		●93年1月 W杯国内開催候補地に決定	●96年5月 2002年W杯の日韓共同開催決定	●01年10月 埼玉スタジアム2002公園オープン	●02年5～6月 2002 F I F A W杯開催			●21年 東京2020大会 （予定）
			●96年12月 埼玉県営サッカースタジアム（仮称）W杯開催決定					
			●97年2月 埼玉県営サッカースタジアム（仮称）敷地造成工事着工					

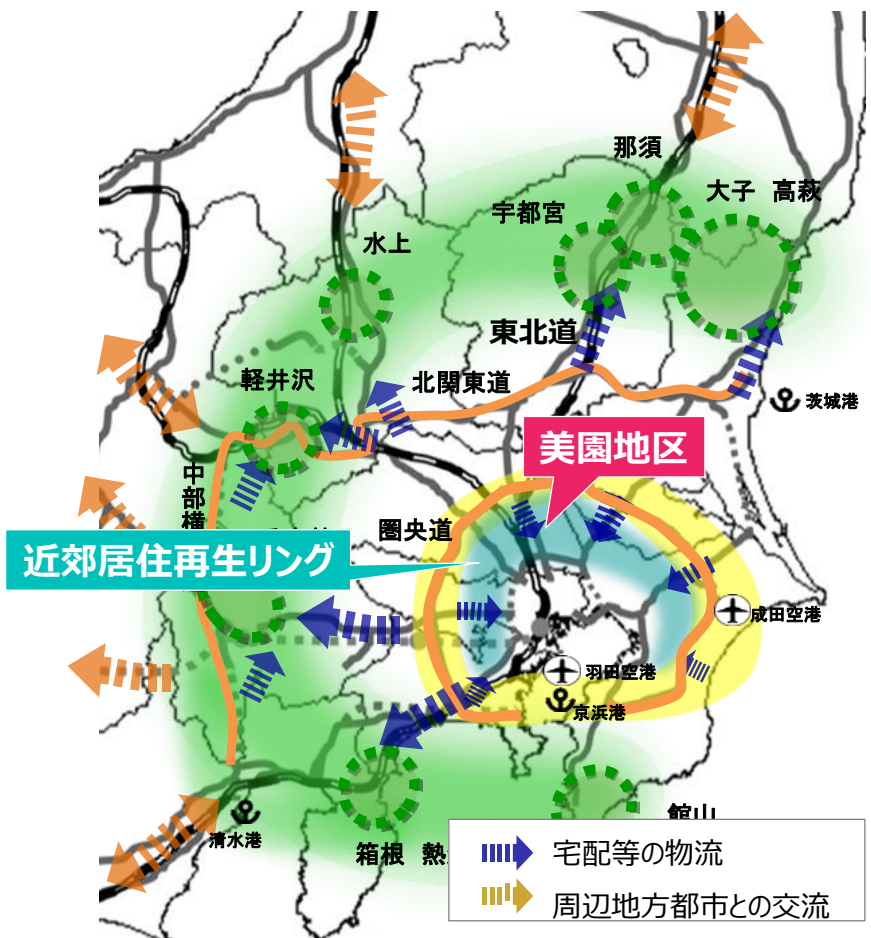
【参考】みそのウイングシティ周辺の状況（2020.6時点）



【参考】首都圏における美園

- 近郊居住再生リング*のコンセプトに最適な地区のひとつ。

***近郊居住再生リング：**
通勤圏内で都心のサービスを享受しつつ、ゆとりある環境で働きながら子育て・介護を行い、また、老後を過ごす郊外型ライフスタイルを目指す。



出典：2017年6月12日第20回国土審議会資料7-1 に一部加筆

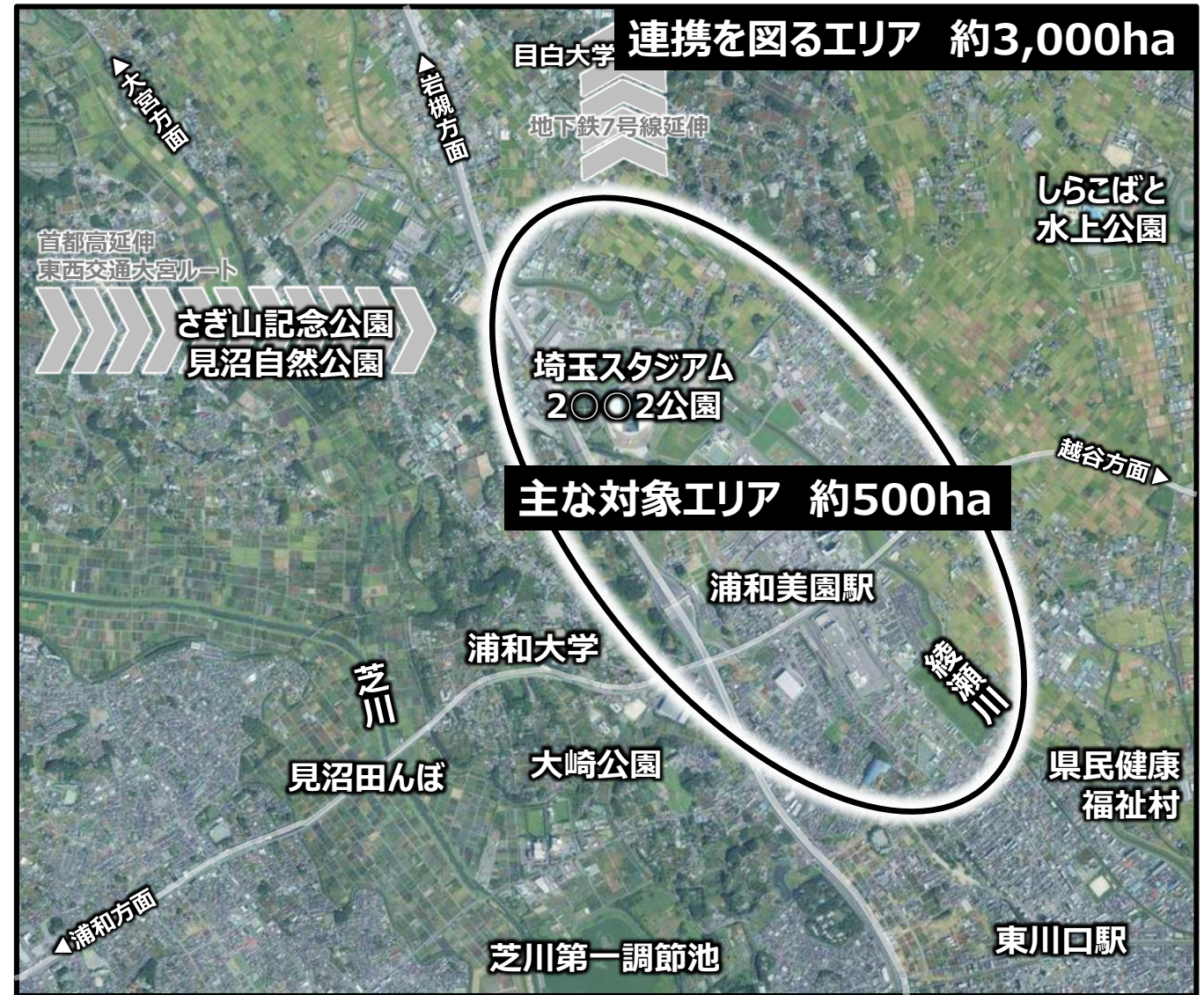


対象区域

- 主な対象エリア：約500ha
- 連携を図るエリア：約3,000ha

目標年次

- 美園に多く転入している30歳代の現役世代が高齢者となり、世代交代が起きる2050年を見据えた将来像を設定し、その将来像実現に向けた今後10年間（2030年まで）のまちづくりの方針・戦略をまとめる。



対象区域

資料：国土地理院「電子国土Web」

2章

ビジョンの基本理念

美園の**まち**が成熟していくなか、豊かな**自然**と共生しつつ、
“美園にしかない^{したた}健かな魅力”が**人**々を惹きつけるような、
世界に誇れる“スタジアムタウン”を実現する。

新価値創造

創造的な交流を通じて、
新しい価値を生みながら
成熟していくスタジアムタウン

多世代健幸

子どもから高齢者まで、
地域の中で支え合い、
健やかに過ごせるスタジアムタウン

次世代環境

豊かな自然に親しみ、
人と環境にやさしい暮らしを
未来に伝えるスタジアムタウン